

誰もが積極的にリサイクルする世界へ

長野県上田染谷丘高校 1年 2組 金井 未知花



〈この課題に関わるSDGsの番号〉

12 つくる責任つかう責任

持続可能な消費と生産パターンを確保する



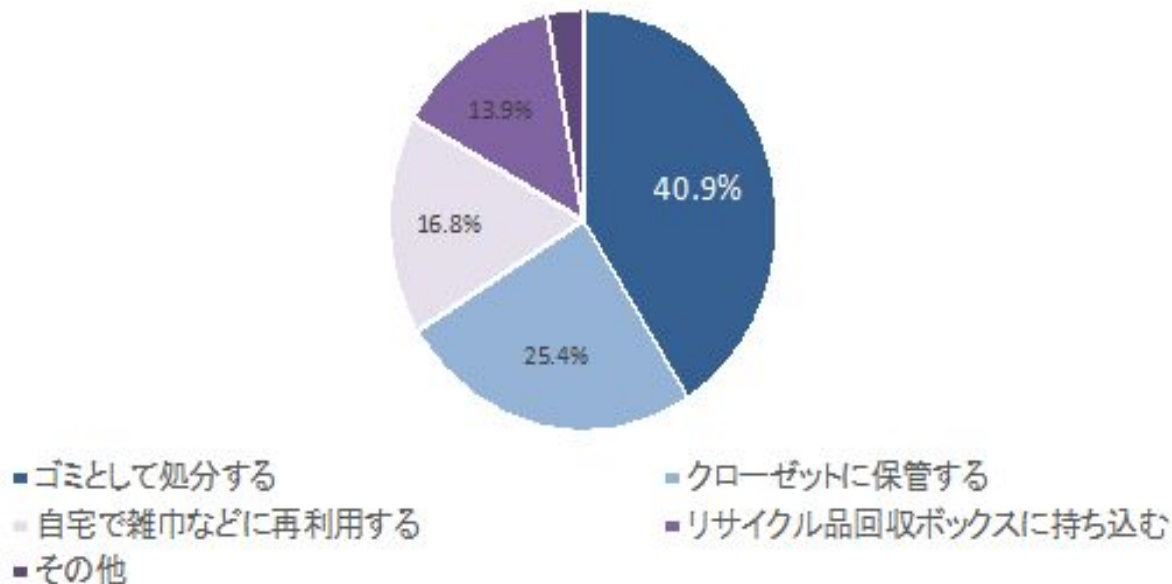
〈テーマ設定の理由〉

積極的にリサイクルしようと行動する人が少なく、リサイクルできるものでも結局ゴミとして捨ててしまったり、自分では使わないものを家に置いたままにしてしまう人が多いと感じたから。

老若男女 誰でもいつでもどこでもリサイクルしようと思えるような環境が整っていれば、自然とリサイクルしようとする人が増えると思う。

〈現状〉

着用しない衣服や、フリマアプリ等で買い手が見つからない衣服は、どのように取り扱いますか？ (n=560)

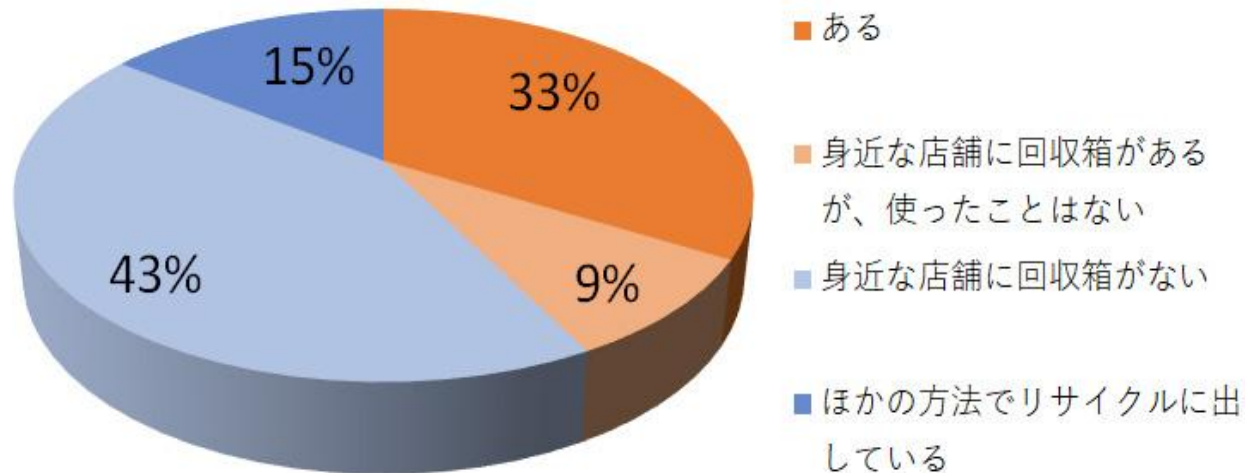


誰も使わなくなった服は**ゴミとして処分する**か**クローゼットに保管する**と答える人が**6割以上**をしめている。

再利用や**リサイクルする**と回答した人は**3割**しかいないことが読み取れる。

〈課題〉

使わなくなった衣類を店頭で設置されているリサイクル回収箱に入れたことはありますか？



「身近な店舗に回収箱があるが使ったことはない」や「身近な店舗に回収箱がない」という回答が半数をしめている⇒リサイクル回収箱の使用率が低い

〈解決策〉

①



商業施設や遊園地、学校など人がよく通る場所にリサイクル回収箱を設置する。子供のために学校、大人のために商業施設、ご年配の方のために福祉施設などどの世代でも使える場所に設ける。

②



リサイクルの手順や利点、リサイクル回収箱の設置場所を示したチラシを作成したり、CMをテレビで流したりすることでみんながより行動をおこしてくれると思う。

〈10代からの提言〉

老若男女 誰でもいつでもどこでもリサイクルしようと思えるような環境というのは商業施設や老人ホーム、学校やテーマパークなど**全世代が普段通う場所にリサイクル回収箱を設ける**ことで整えられると思う。

また、リサイクル回収箱がある場所を示すポスターを作成し学生の通学路や商業施設に貼ったり、リサイクル方法を示すCMをつくりテレビで流すなどの工夫をすることでさらに積極的にリサイクルしてくれる人が増えると思う。



〈感想〉

私はリサイクルに焦点を当てて色々と調べました。
調べてみると「身近にリサイクル回収箱がない」「いらないものはゴミとして処分する」などリサイクルをする環境が整えられていなかったり、リサイクルに対して後ろ向きな気持ちでいることがわかりました。そのような問題はリサイクル回収箱をたくさん設置したり、リサイクルを促進するチラシやCMを発信することで解決できると思います。
これからは私もリサイクルを意識して行動するとともに、違うSDGsの目標についても考えたいと思います。

学校体操着のリサイクル回収箱⇒

